

【恵庭】22日に中国・北京で開幕する陸上の世界選手権で女子100㍎、200㍎に出場する福島千里(27)＝北海道ハイテクAC一帯南商高出＝が13日、恵庭市の同ACインドアスタジアムで報道陣の取材に応じた。積極的な海外遠征や男子とのトレーニングで好調を維持し、自らが持つ日本記録(100㍎・11秒21、200㍎・22秒89)の更新も期待される。本人は気負わない様子ながら「一本でも多く走りたい」と、来年のブラジル・リオデジャネイロ五輪に照準を合わせ、上位進出に意欲を見せる。

福島千里

日本新へ「好調」



世界選手権出場を前に、日本記録更新に意欲を見せる福島千里(北海道ハイテクACインドアスタジアムで)

22日から世界陸上 経験積み余裕と自信 「130%の力出したい」

現在の調子を「いつも通なっている。今季も豪州、ヨーロッパに出向きレースに臨んだ。7月のワールドチャレンジャーシリーズ(スペイン・マドリッド)では、女子100㍎予選で海外での日本人最高記録となる11秒25をマークした。時差などの海外対応も「もともと苦手ではないが、いつも通りできている」とたくましさを増した。

海外遠征の経験が自信と指導する中村宏之監督も

11秒1台も目前

「今まで一番調子がいい。いつ11秒1台が出てもおかしくない」と仕上がりに太鼓判を押す。成長過程で必ず経験しなければならぬという試行錯誤する時期も、監督に「頑固、気の強さ」と言わせる強い意思で乗り越え、「自分で納得する段階に進歩、進化している」(同監督)とする。

2年ほど前から、100㍎10秒台を出す男子と一緒に練習に汗を流す。当初は相手が走力をセーブしていたと言うが、今や「スタートは互角」(中村監督)。200㍎も札幌・厚別公園競技場のトラックでコーナー練習などをこなしており、同監督は「持久力もある選手。リレー種目に出ないのも調整する面でもいい」と期待する。

「今の方がいい」北京は2008年に五輪初出場を果たした思い出の地だ。緊張した当時とは違い、福島は「経験を積み重ねた今の方が絶対がいい」と力を込める。「五輪前年なので、いい記録、結果を出したい。120%、130%の力を出し、地元にいるニューズを届けたい」と力強く語った。

(原山知寿子)